

報告事項シ

企画展「前田昭博 白瓷の造形」の開催について

企画展「前田昭博 白瓷の造形」の開催について、別紙のとおり報告します。

平成21年11月20日

鳥取県教育委員会教育長 中 永 廣 樹

企画展「前田昭博 白瓷の造形」の開催について

1	展覧会名	前田昭博 白瓷(はくじ)の造形
2	会期	平成21年11月21日(土)～12月20日(日) 会期中無休
3	会場	鳥取県立博物館 第2展示室
4	主催	鳥取県立博物館
5	協賛	株式会社吉備総合電設、三和商事株式会社、株式会社モリックスジャパン
6	観覧料	一般600円 (前売、団体400円)
7	概要	現代日本を代表する陶芸家のひとりとして活躍する、鳥取県八頭郡河原町(現・鳥取市)出身の前田昭博(まえた・あきひろ 1954年～)氏の個展。大学卒業後から今日まで、ほぼ一貫して白磁を追究してきた前田氏のこれまでの仕事を、文化庁や東京国立近代美術館の所蔵品などを含む105点の作品により振り返ります。

1 展示構成と主な展示作品

白い器胎との出会い ～初期(70年代～80年代初頭)の作品

日本陶芸展に初入選した《白瓷面取壺》1979年など 6点

<かたち>と質感の追究 ～80年代の作品

茶の湯の造形展優秀賞受賞作《白瓷鑄文蓋物》1985年(田部美術館蔵)など 10点

進化する立体造形としての器へ ～90年代の作品から最新作まで

日本伝統工芸展朝日新聞社賞受賞作《白瓷面取壺》2000年(文化庁蔵)など 59点

日常の白瓷器 ～湯呑や小鉢等、前田の造形理念を映す日々の器

長く作り続けている《白瓷面取湯呑》や、新作の《白瓷面取珈琲碗》など 30点

2 前田作品の魅力とそれを実感できる展示

柔らかい光を放つ白い肌の美しさ 裸展示(ケースなし)のため存分に味わうことが可能

かたちのユニークさ、バリエーションの豊富さ 展示作品は様々なタイプのもので構成

細部まできっちりと仕上げられた、完成度の高さ 裸展示のため存分に味わえる

3 関連事業 いずれも午後2時より。

開催日	名称	講師
11月21日(土)	アーティストトーク 要観覧料 (陶芸家自身による作品解説)	前田 昭博 氏
11月28日(土)	トークセッション 要観覧料 (陶芸家と工芸研究者が、展示されている作品や、現代陶芸の動向について対談)	前田 昭博 氏 金子 賢治 氏 (東京国立近代美術館工芸課長)
12月5日(土) 12月12日(土)	ギャラリートーク 要観覧料	当館学芸員
12月19日(土)	アートセミナー 無料 「前田昭博の白瓷を分析する」	当館学芸員

4 その他

博物館での展示終了後、約60点の作品を大阪・アートコートギャラリー(大阪市北区天満橋・平成22年1月9日～2月7日)へ巡回展示。

博物館内喫茶コーナーで、会期中、前田さんが作られた珈琲碗でコーヒーを提供。